

# ACDSee 2009 チュートリアル: データベース情報をファイルに埋め込む

## メタデータとは?

このチュートリアルでは、ファイルにメタデータを埋め込む方法について解説します。

## メタデータの埋め込みにアラームを表示する

メタデータは画像に関する情報のことで、ACDSee データベース内の情報、EXIF や IPTC 情報、名前やサイズ、ハードディスク上の場所といった一般的な情報が含まれます。ACDSee のツールを使って、キャプション、キーワードなどのメタデータをテキスト フィールドに入力することができます。

## アラームをオフにする

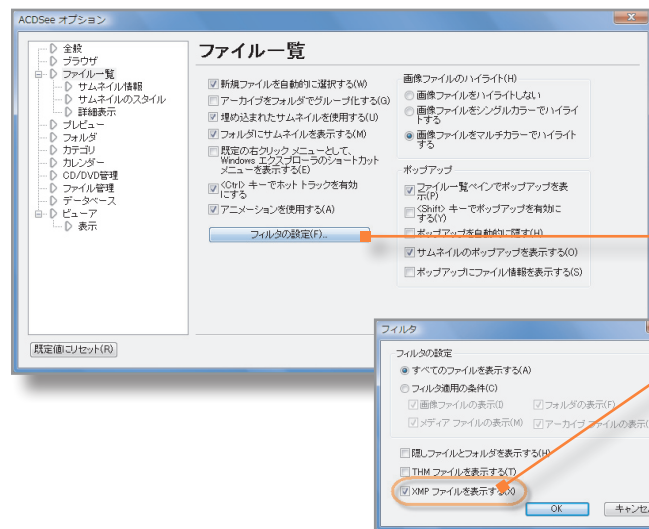
メタデータを保存する主な利点は、ファイルの移動やファイルの名前を変更しても、画像に埋め込まれた情報が保持されるという点です。

## アラームをオフにした状態でメタデータを埋め込む

ACDSee は XMP を使ってデータを埋め込みます。ファイル フォーマットによって、ファイル内そのものに埋め込む、サイドカー ファイルとして埋め込む、のいずれかの方法で処理されます。XMP (Extensible Metadata Platform) は、メタデータの処理と保存に使用される一般的な標準規格です。そのため、ACDSee で保存されたファイルの情報は、XMP をサポートするその他のアプリケーションでも読み取ることができます。

## まとめ

埋め込み XMP をサポートしているファイル フォーマットは次の通りです: GIF、JPG、DNG、PNG、TIF。これらのフォーマットの場合、ACDSee はファイル内に直接情報を埋め込みます。



RAW、PSD、PDF などその他のファイル フォーマットの場合、ACDSee は XMP 情報をサイドカー ファイル内に保存します。データが損失される可能性がありますので、上記のその他のフォーマットのファイルは、ACDSee 外で移動や名前の変更をしないように十分気をつけてください。

ファイル一覧 ペインに、サイドカー XMP ファイルを表示することができます。操作は次の通りです。

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスから [ファイル一覧] をクリックします。[フィルタの設定] ボタンをクリックし、[XMP ファイルを表示する] チェックボックスを選択してから [OK] をクリックします。



この例では、lifeguard\_tower.pdf とセットになっている XMP サイドカー ファイルが表示されているのを確認できます。

# ACDSee 2009 チュートリアル: データベース情報をファイルに埋め込む

メタデータとは?

ファイルに関する情報を ACDSee データベースに追加し、アプリケーションを閉じると、ACDSee はファイル内にその情報を埋め込みます。

メタデータの埋め込みに  
アラームを表示する

アラームをオフにする

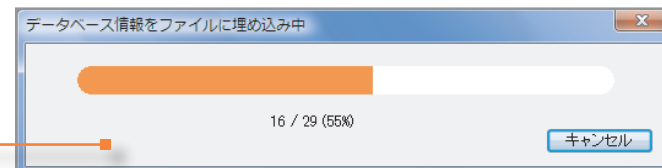
アラームをオフにした状態  
でメタデータを埋め込む

まとめ



[はい] をクリックします。

ファイルが更新されているのを示す進行状況バーが表示されます。



# ACDSee 2009 チュートリアル: データベース情報をファイルに埋め込む

メタデータとは?

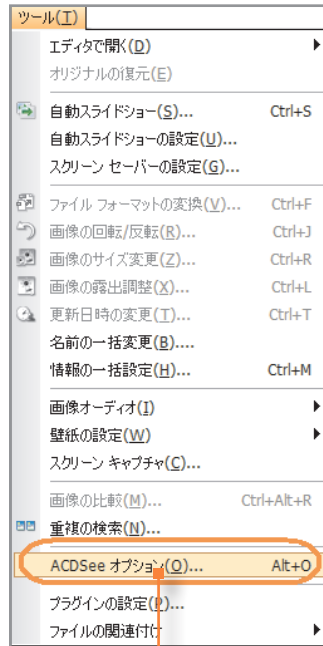
メタデータの埋め込みに  
アラームを表示する

アラームをオフにする

アラームをオフにした状態  
でメタデータを埋め込む

まとめ

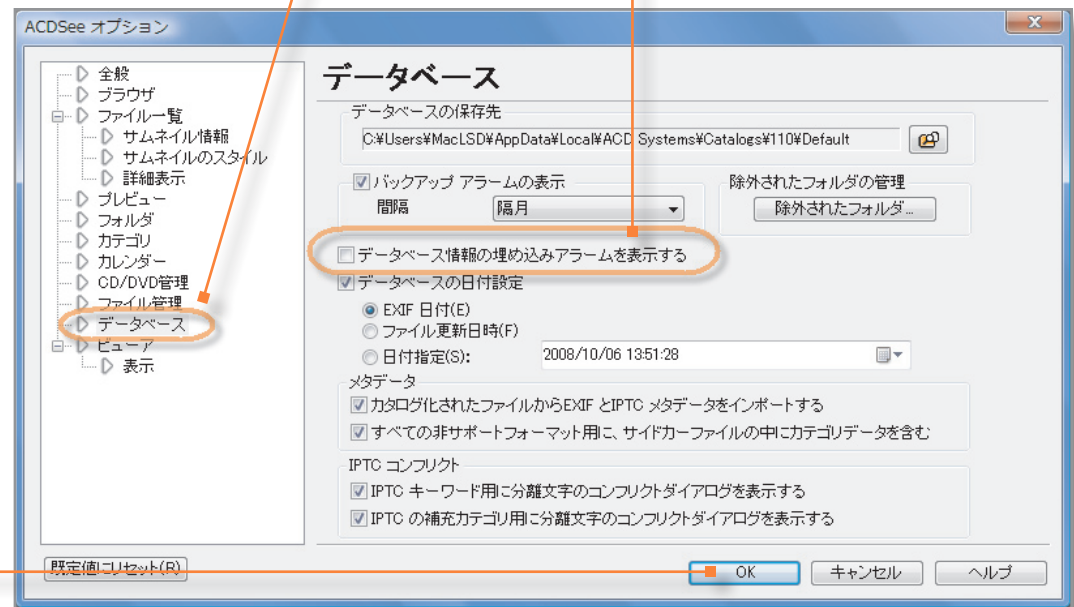
ACDSee 終了際に確認メッセージを表示させたくない場合には、アラームをオフに設定します。



[ツール] メニューから  
[ACDSee オプション] を選  
択します。

[データベース] をクリ  
ックします。

[データベース情報の埋め込み  
アラームを表示する] チェックボ  
ックスをクリアします。



[OK] をクリックし  
ます。

# ACDSee 2009 チュートリアル: データベース情報をファイルに埋め込む

メタデータとは?

アラームを表示しない場合、データベース情報をファイルに埋め込む作業を定期的に行うようにしてください。

メタデータの埋め込みに  
アラームを表示する

[データベース]メニューから [データベース情報をファイルに埋め込む] を選択します。

アラームをオフにする

アラームをオフにした状態  
でメタデータを埋め込む

まとめ

The screenshot shows the ACDSee Photo Manager 2009 interface. The 'データベース(D)' menu is open, and the 'データベース情報をファイルに埋め込む(D)' option is highlighted. A dialog box titled 'データベース情報をファイルに埋め込む' is displayed in the foreground. The dialog contains the following text:

データベース情報をファイルに埋め込む

ユーザーがカテゴリや重要度を追加して画像を管理する際、ACDSee はそれらの情報をデータベースに保存します。これらの情報をファイルそのものに埋め込むオプションがあります。情報を埋め込むと、ファイルの場所を変更したり共有したり、後で必要な場合にデータを取得したりする処理が簡単になります。

ACDSee メタデータを埋め込むには、5 ファイルが必要です。  
これらのファイルの 0 つがネットワークドライブ上に存在します。  
 ネットワークドライブを含む(D)

後でこの作業を行いたい場合は、[データベース]メニューから [ACDSee データベース情報を埋め込む] を選択します。

メタデータをファイルに埋め込みますか?  
 今後は確認しない(D)  はい  いいえ  ヘルプ(H)

[はい] をクリックします。

## メタデータとは?

このチュートリアルでは、下記のポイントについて解説しました:

## メタデータの埋め込みに アラームを表示する

» メタデータはファイルに関する情報のことで、EXIF や IPTC 情報、名前やサイズ、ハードディスク上の場所といった一般的な情報が含まれます。

## アラームをオフにする

» ACDSee は XMPスタンダードを使用します。メタデータは、ファイルフォーマットによってファイル内に直接、あるいはサイドカーファイルとして保存されます。

## アラームをオフにした状態 でメタデータを埋め込む

» ACDSee データベースにファイルに関する情報が追加されると、ACDSee 終了時にアラームが表示されます。

## まとめ

» データベース情報の埋め込みを確認するアラームを表示したくない場合には、アラーム表示をオフに設定することができます。

» アラーム表示をオフにした場合、[データベース]メニューの [データベース情報をファイルに埋め込む] を使って定期的にデータを埋め込む必要があります。